



浜小だより

茅ヶ崎市立浜須賀小学校

2023年11月30日

12月号

学校教育目標 「未来をひらく浜小の子」～遊ぶ 学ぶ 助け合う～

校長 青柳 和富

「浜須賀小学校の教育活動の検証」

文科省は、毎年、全国の小学6年生・中学3年生を対象に「全国学力・学習状況調査」を実施しています。本調査の趣旨は、「学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる」ことにあります。本調査における結果はあくまで学校における教育活動の一側面に過ぎないことについても示されていますが、それぞれの学校の教育活動等の状況を客観的に捉える意味で貴重な資料となることは間違いありません。本年度は4月18日に国語・算数、及び質問紙の3つの調査が実施されました。その調査結果の概要についてご報告いたします。

【国語】参加127名、問題数14問

- 平均正答率は、全国（公立）の67%と「概ね同程度」（本調査では、 $\pm 5\%$ 以内についてこのような表現を用いています）となっています。
- 個別の問題の平均正答率についても全国と10ポイント以内（全国比 $-5\% \sim +9\%$ の範囲）となっています。
- 全国的な課題として、自分の考え等を40字～100字にまとめる記述式の問題の正答率の低さ（3問の平均正答率が51%）が挙げられます。

【算数】参加127名、問題数16問

- 平均正答率は、全国（公立）の63%と「概ね同程度」となっています。
- 個別の問題の平均正答率についても全国と10ポイント以内（全国比 $-10\% \sim +4\%$ の範囲）となっています。
- 本校の課題として、例えば「30分以上の運動をした日数と運動の好き嫌いの関係」など、二次元の表の読み取りに係る問題の正答率の低さが挙げられます。

【児童質問紙】参加129名、質問数59問

- 肯定的な回答が全国平均を上回った主な質問として、「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思う」「これまで学校の授業以外で英語を使う機会がありましたか」「読書は好きですか」「自分と違う意見について考えるのは楽しい」などが挙げられます。
- 逆に、肯定的な回答が全国平均を下回った主な質問として、「今住んでいる地域の行事に参加している」「自分にはよいところがあると思う」などが挙げられます。

◇学習について、本校では話し合い活動が比較的よく行われていますが、全国的な課題である「考えを文書にまとめる」活動について、また、基礎的な知識・技能を押さえた上で、それらを活用できるような「意味が分かる算数」について研究を深めなければならないと感じました。質問紙では英語や読書への関心が高いことが示されましたが、自己肯定感の低さについては、自他を認められる心情の醸成に向けて本校の課題を検証しなければならないところです。



◆これらのことと絡めて、本校全体の1年間の教育活動等の成果・課題を整理しその改善を図ることを目的として、本日から12月11日（月）を期間として、保護者、教職員、児童を対象とした学校評価webアンケートを実施いたします。5月号でお示した学校経営計画（ホームページに掲載）に沿った「15項目」の質問により、子どもたちの成長に係る学校教育の在り方に付いて検証してまいりますのでご回答への協力をお願いいたします（昨年度回答率55%）。詳細はコクーでご連絡いたします。